

これまでのUNFCCC COPで「森林・自然」 の何が決まったのか：

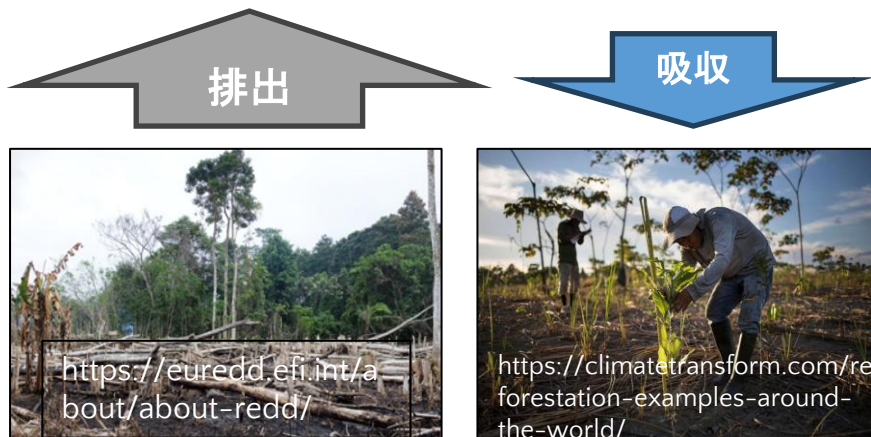
グローバルな森林減少の現状とコミットメント実現にむけて

藤崎 泰治

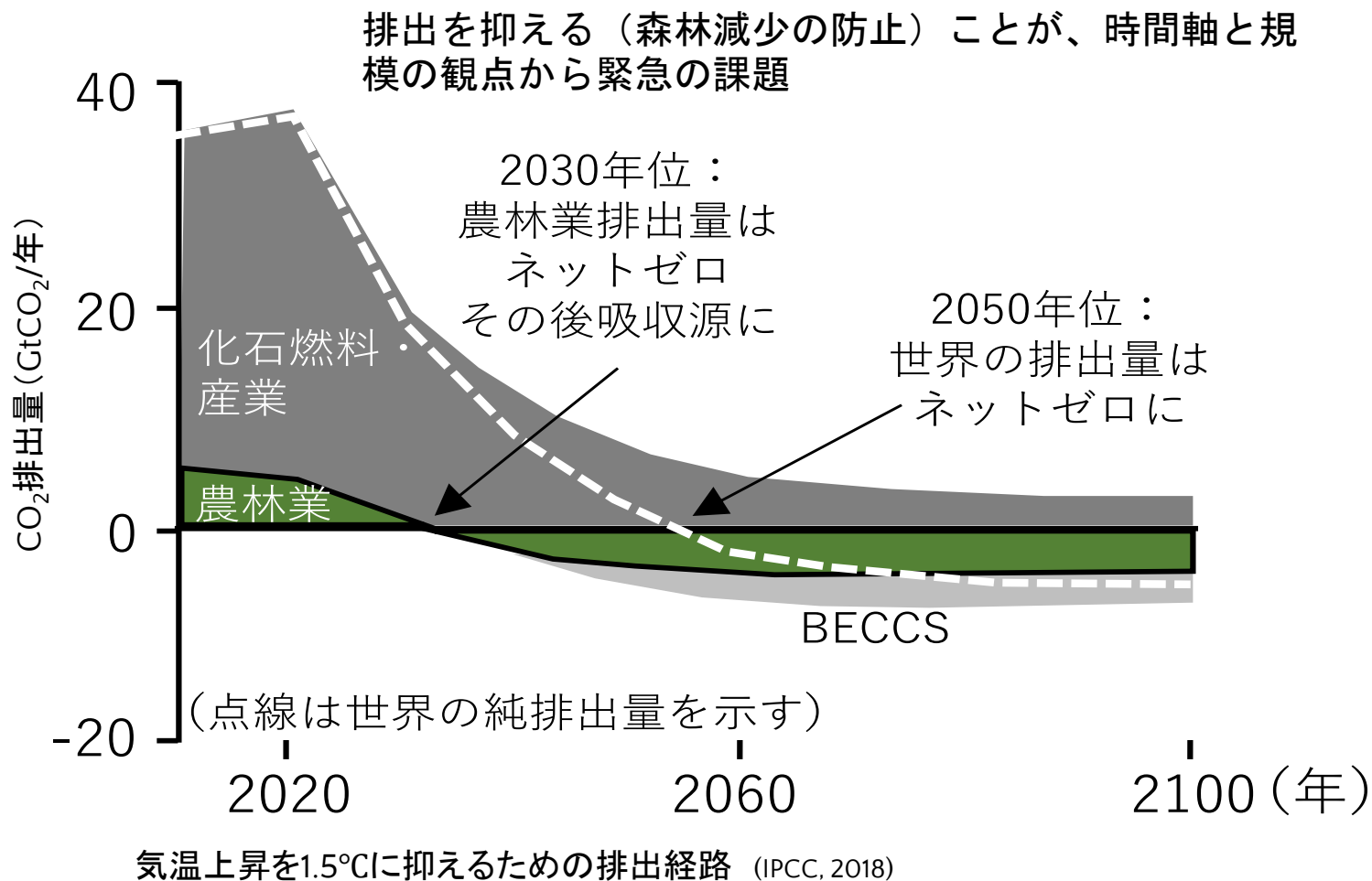
1. ネットゼロパスウェイにおける森林の位置づけ
2. COPにおける「森林・自然」議論の変遷：
3. グローバルな森林減少の現状と要因
4. コミットメントを実現へ



森林は気温目標達成の鍵：まず排出を抑え（森林破壊防止）、そして吸収を増やす（植林・保全）

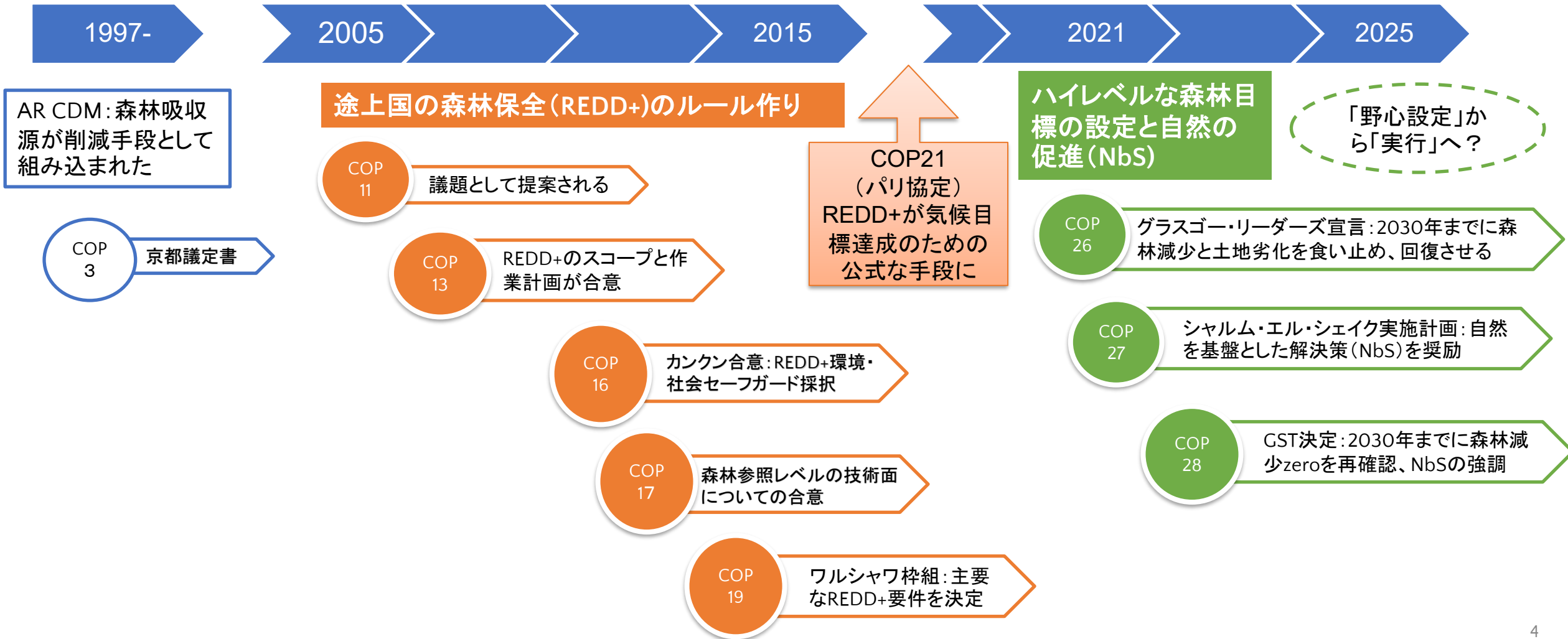


- 森林減少は世界の排出の約11%を占める
- グローバルネットゼロには「吸収（回復、吸収）」が必須



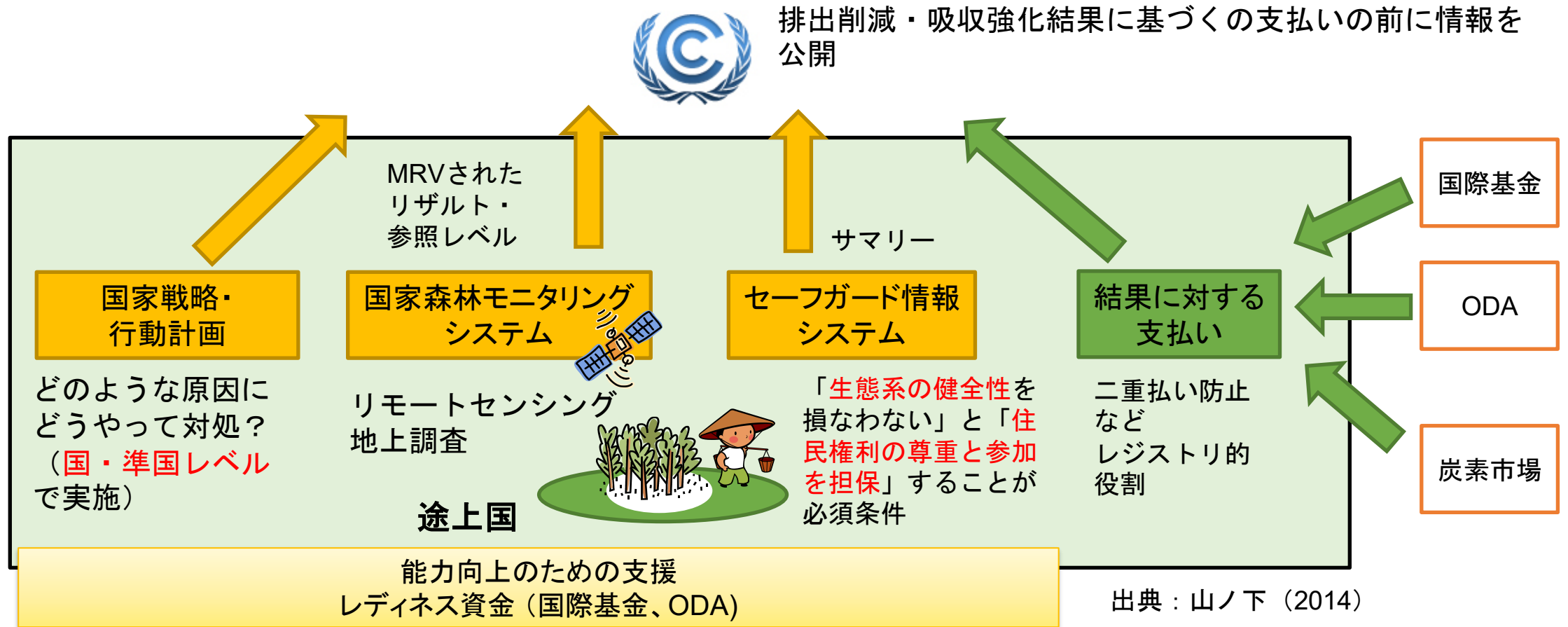
UNFCCC COPにおける「森林・自然」議論の主な流れと焦点：

「排出削減の手段」、「途上国の包括的な森林保全」、そして「高レベルな政治的目標と広範な自然の促進」へ



REDD+: パリ協定以前に完成した、途上国の森林保全による緩和策

目的：途上国の森林減少・劣化からの排出削減と吸収強化（森林保全、持続的管理、炭素蓄積強化）
仕組み：排出削減・吸収強化結果に対して経済的インセンティブ（結果に基づく支払い）を提供する



2021年以降は、政治的コミットメントを高める動き：気候変動政策における**森林減少ゼロ目標と議論の発展**



COP26でのグラスゴー首脳宣言（2021年）



COP28のグローバル・ストックテイク（2023年）

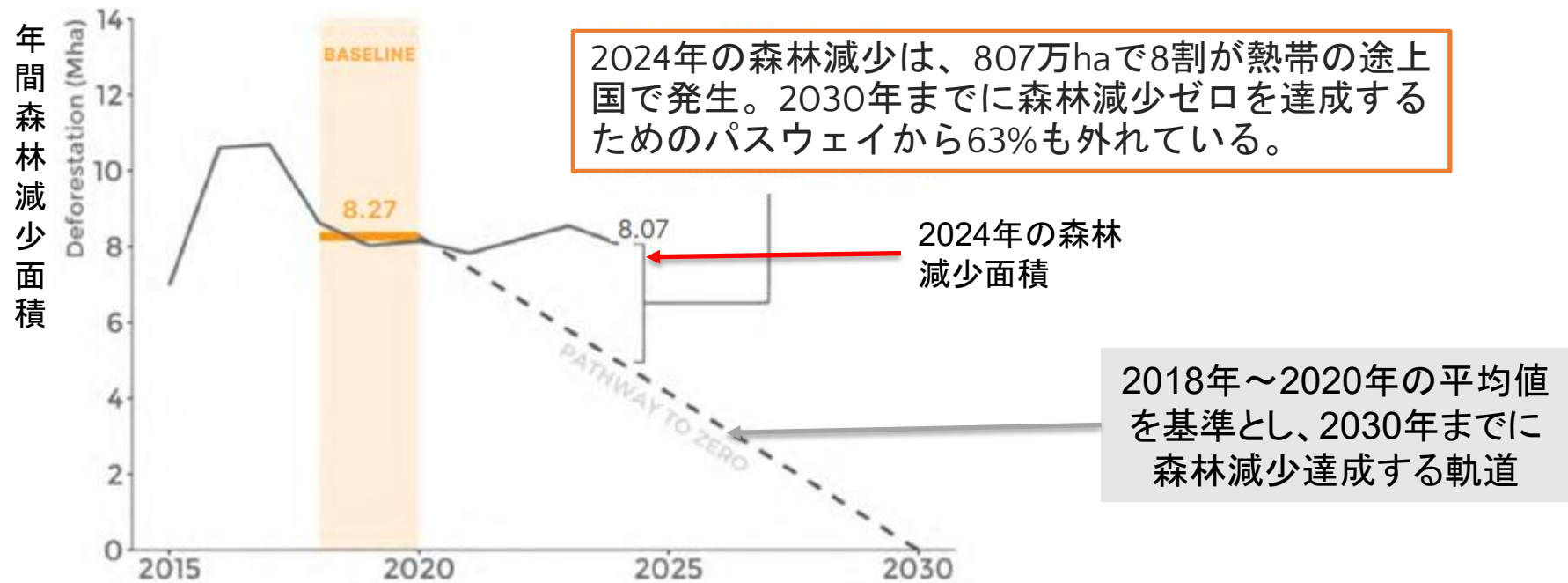
- **2030年までに森林の消失と土地の劣化を食い止め**、さらにその状況を好転させる
- **持続可能な生産・消費、貿易及び金融・投資**という相互に関連した分野で変革をもたらす更なる行動等が必要

→議論の拡大と民間セクターへの期待

- これまで気候変動交渉では踏み込みにくかった**農業、貿易、消費、サプライチェーン**といった、森林減少のドライバーそのものに国際社会の焦点が拡大した
- これまで限定的であった**民間セクター**の役割が拡大した

世界は2030年に森林減少ゼロ達成への道筋から大きく外れている

2015年～2024年の森林減少（百万ha）

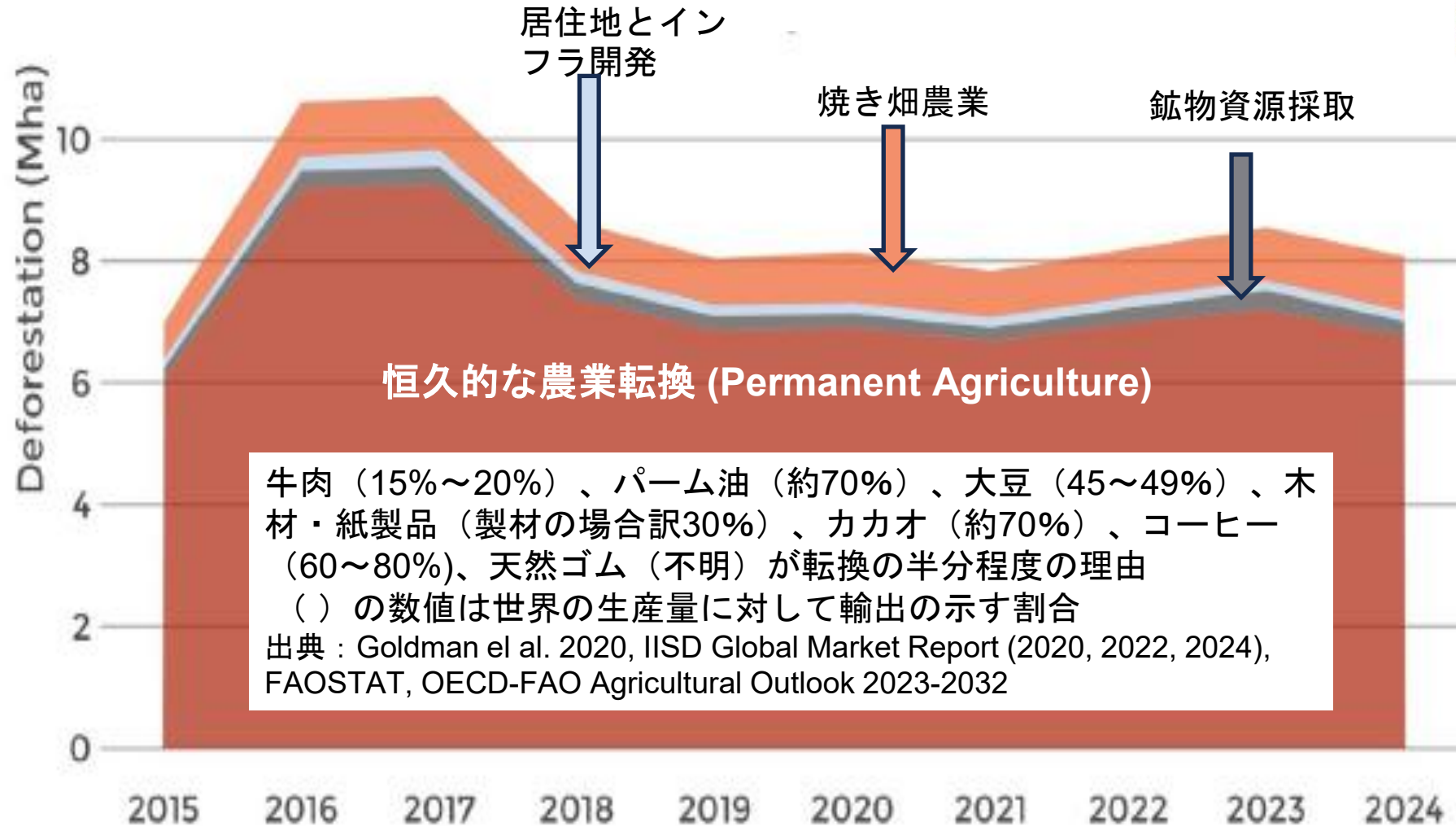


Source: Own analysis using tree cover loss data (Hansen et al. 2013, updated through 2024) and drivers of tree cover loss (Sims et al. 2025, updated through 2024)

出典：Forest Declaration Assessment Partners (2025)

世界の森林減少のほとんどが、農地の拡大によって引き起こされ、輸出が大きな背景に。

- 特に牛肉、パーム油、大豆、木材・紙製品、カカオ、コーヒーなどのコモディティは、その主要な原因
- これらの多くは、先進国や大規模消費国への輸出用に生産されている



オイルパームプランテーション拡大による森林減少：インドネシア東カリマンタン州 (Photo: H. Samejima)

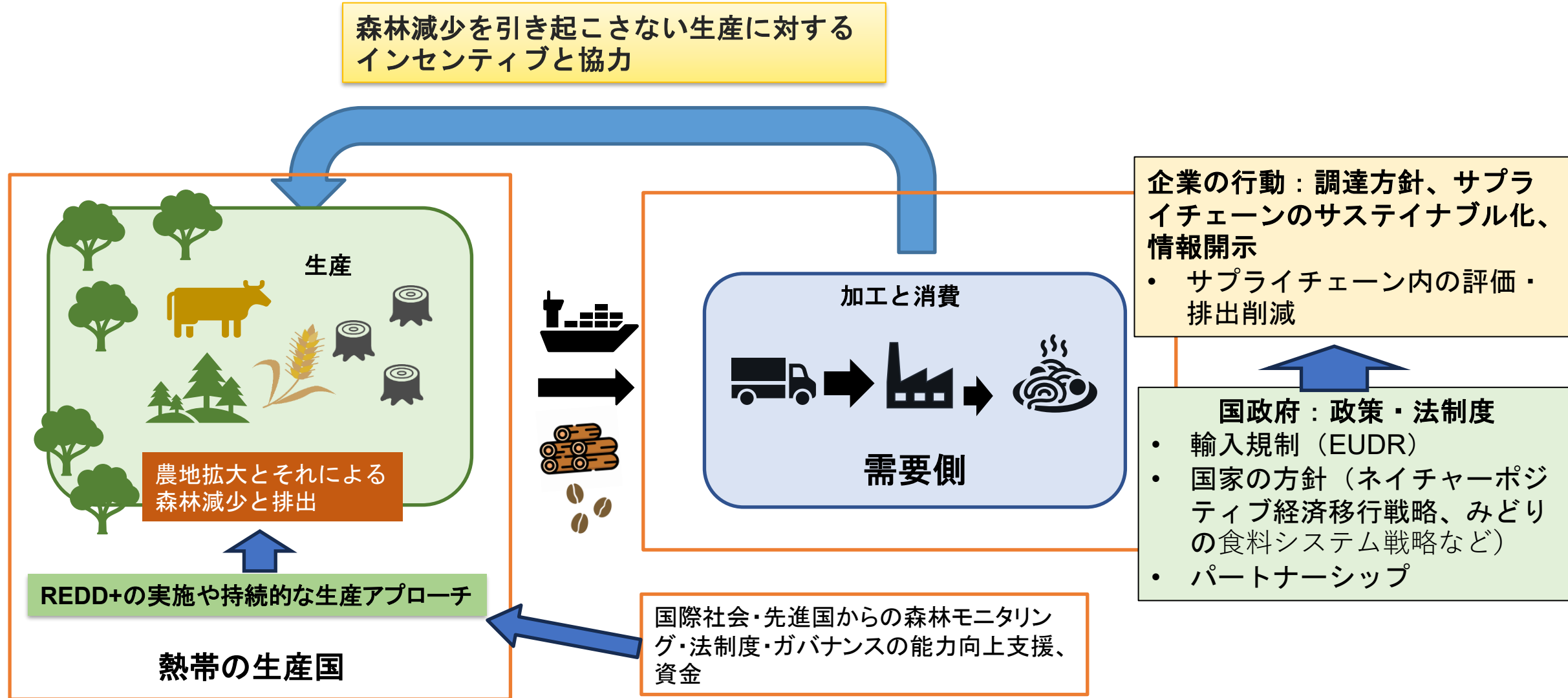


アカシアプランテーション造成のために皆伐された森林：マレーシア・サラワク州 (Photo: H. Samejima)



<https://forestdeclaration.org/goals/goal-3/>

生産現国のアクションだけでなく、需要側のアクションが森林減少対策に求められる



「Nature COP、そして実施のCOP」

グローバル森林目標の実現にむけて日本の民間企業はどのように貢献するのか？

「気候変動対策は、私たちの時代の決定的なビジネス機会である。民間セクターこそが、この移行を『実行』へと加速させるための不可欠なステークホルダーである（COP30ブラジル議長）」

- 森林のルール交渉は10年前に完了し、グローバル目標（2030年森林減少ゼロ）も確立済み。
- **民間セクターは森林保全・生産とサプライチェーンの変革主体**
 - 生産現場への投資、調達方針・サプライチェーンの透明性確保といったネガティブの抑制（森林減少の防止）
 - 森林保全や森林炭素への投資といったポジティブの促進（森林保全・回復の機会）
- 日本の大きなポテンシャル：
 - 市場と調達力：海外から農林作物を大量に調達・消費
 - 企業の進化：TNFDなどサプライチェーンのサステナビリティに取り組む企業が増加
 - 技術と知見：途上国へのREDD+支援実績
 - 民間企業によるクレジット活用方法の可能性

Stay connected for our latest research, insights, and upcoming events.

Please visit our website and follow us on social media.

日本語



English



IGES Website



IGES E-newsletter



X



Bluesky



Facebook



LinkedIn



YouTube